

ご意見・ご要望等お気軽にどうぞ！



市川市議会議員

# 稲葉健二の ひと言メッセージ

31

平成22年7月1日発行  
稲葉健二事務所  
272-0021  
市川市八幡2-2-10  
TEL 047-333-1783  
FAX 047-334-1990  
URL [www.inaba-kenji.jp](http://www.inaba-kenji.jp)  
MAIL [kenjiinaba@aol.com](mailto:kenjiinaba@aol.com)

## 子ども手当を考える。

正式には決まっていますが、子ども手当の満額支給は見送られそうです。それでも前回書きましたが、かなりの額の税金を使った施策であることはまちがいありません。満額支給であれば国の防衛費よりも多くのお金がかかるものです。それとともに考えていただきたいのはこのお金を生み出すために所得控除の廃止を予定しています。年少扶養控除廃止は平成24年度以降の保育料に影響がでる予定です。

今回はモデルケースを作って表にしてみました。今まで所得の額により支給を受けていた児童手当(月1万~5千円など)ですが、子ども手当として一律13000円の支給を受けれることとなりました。所得制限もないので年収でいままでもらえなかった世帯ももらえます。手当は所得としてみなさないで年収総額は増えません。しかし、年少扶養控除を廃止すると、所得税・市県民税が増税となります。また、保育園などの保育料も税額が対象なので増額となります。表でおわかりかと思いますが年収700万までの今まで児童手当をもらっていた世帯の方たちは差し引き出るお金の方が多いのです。また、幼稚園などに子どもを行かせている世帯では幼稚園就園奨励費補助金も税額が対象なのでもらえない世帯が増えることは明らかです。税額が上がることでの影響はいろいろな分野の制度に影響が出てきます。目の前の手当をもらうことも大事ですが、結局そのつけを他の制度や次の世代に先送りしていることを理解して欲しいと思っています。予定していない収入として旅行に行くとかおいしいものを食べることも必要かもしれませんが、後で不足するその分を払うことになるのです。

子どももお年寄りの方たちも一緒に考えて納得のいく制度を作り、国民みんなで支援していくことが大事ではないでしょうか。ちなみに国の税収は37兆円、予算は92兆円です。成り立ちますか？

年少扶養控除が廃止の場合の影響額の試算(-は家計の負担増)  
モデルケース、配偶者有・年少扶養1人(保育園児3歳未満児として)

給与収入300万の場合	住民税	所得税	保育料(年額)	旧児童手当との差(年額)	差引受取の金額
改正前	59500	24000	300000	旧児童手当 120000	
改正後	95000	43000	396000	子ども手当 156000	
家計への負担	-35500	-19000	-96000	36000	-114500

給与収入500万の場合	住民税	所得税	保育料(年額)	旧児童手当との差(年額)	差引受取の金額
改正前	193500	91000	492000	旧児童手当 120000	
改正後	231500	122500	564000	子ども手当 156000	
家計への負担	-38000	-31500	-72000	36000	-105500

給与収入1000万の場合	住民税	所得税	保育料(年額)	旧児童手当との差(年額)	差引受取の金額
改正前	582500	704500	744000	旧児童手当 0	
改正後	615500	780500	756000	子ども手当 156000	
家計への負担	-33000	-76000	-12000	156000	35000

# 新しい情報をご紹介します。

本八幡A地区市街地再開発で京成八幡駅がこうなります  
よく聞かれることに、再開発で京成八幡駅はどうなるのかというのがあります。京成線の高架はどうなるのかというのものもありますが、現実にはすぐ方向性や計画は難しいと思っています。今、京成八幡駅の出口は北側（エレベーターがある方）と南側（旧京成百貨店の方）に出られます。北側は変更はありませんが、都営地下鉄に乗り換えられる方は京成百貨店の建物が取り壊されるのでどのような導線で、つながるのかということですが、電車を止めずに工事をします。まず、京成百貨店の中央通り側に新しい降り口を作ります。地下鉄につながる自転車が置ける通路はそのまま残します。その間に百貨店本体を解体します。その後解体が終わったところに（現在の建物の後ろのあたり）地下鉄につながる通路を仮設でつくりまします。その間に今の通路部分を解体します。解体終了後に後ろ側の仮設通路を閉鎖して、現在の自転車置き場のある方が連絡通路となります。段階を分けて安全を優先に行なうそうです。再開発の業務棟（京成電鉄の本社が入るビル）ができあがれば、駅から業務棟につながるようになります。階段やエレベーターで一階まで降りられるようになり、地下鉄の現在の連絡通路とつながります。（直接業務棟からエレベーターで地下鉄の駅には降りられません）

市役所の前と郵便局の間の国道に信号がつく予定です  
議会でも質問していましたが、市役所の前の国道14号ですが、信号がひとつしかないのので、どうしても信号以外のところを横断する人が多いのが現状です。葛飾八幡宮の参道から出てきた歩道橋のあるところと、郵便局の前のところに信号をつけて欲しいと要望をしていました。現実に死亡事故も何件か起こっています。私の希望は現在の歩道橋を撤去して信号をつけること。そして郵便局の前に信号がつくと市役所の脇の踏切から郵便局の脇の道へと進むのに大変便利になるので信号をつけることです。今回は郵便局の前につく予定です。

## 稲葉健二のコラム

この議会の議案で今まであった「市川市行財政改革推進会議」を廃止して、その代わりに市長の公約でもありました「市川市市政戦略会議」を立ち上げるものがありました。どういふものかと説明しますが、本市の重要施策に関する事項及び行財政改革の推進する事項について、市長の諮問に応じ調査審議するとともに、必要に応じて建議することができる」といふものです。言い換えると、市長がこれこれについて意見を求めたいときに召集する戦略会議といふものです。それでは重要施策とは何なのか、どのような人で構成するものなのか、事業仕分けなども行うのかなどの審議が行われました。今回のコラムの言いたいことは、国ではやっている「事業仕分け」ってなんなのかということです。マスコミで大きく取り上げられて、悪を退治するようなイメージにも映ったりしました。国や自治体や関連する団体の内容を精査してムダをなくすことに異論のある人はないでしょう。しかし、その事業の必要性や社会でのポジションなどを数時間の書類審査や質問だけで判断ができるのか疑問を感じます。天下りの職員や高額報酬などは論外ですが、事業の中身を本当に知っている上での判断になれるのか難しいと思いますし、思ったより金額的な効果もでなかったように思います。市川市も前年度の決算を「決算審査特別委員会」を設置して議員が交代で委員を務め事業や決算内容を精査します。これも一つの「事業仕分け」、来年度の予算を審議することも一つの「事業仕分け」となるのです。日頃から市の事業に提言したり一般質問で提言したりすることも形は違っても「事業仕分け」であると思っています。何も派手に取り上げて判断したり意見を言うことだけではなく、日頃から目や気を配ることだと思っています。

